

デジタルを活用した 新しい参画型の「交通安全教育」

安全で楽しい通学を実現する
IaaS as a Service
(IaaS アイアース)

自転車文化協会 御子柴 慶治
大成口テック(株) 技術研究所 平川 一成

交通安全教育はどのように実施されていますか？

子どもたちは受け身になりがち

- コロナにより安全教教室が実施できない
- 生徒主体での安全の呼びかけなどは少ない
- 危ない！ダメ！理由が分かりにくい 受け身の交通安全教育が多い
→楽しくない…



教育の現場ではデジタル化が進む GIGAスクール構想

- 学び方が変わっている
- 参加型になってきている
- 自分で考えて行動に移す力を養う

自転車の通学空間 長野県の伊那市立春富中学校の生徒と考える

河岸段丘が多い、学校区が広い、通学時間も長い、産業が活発
くるま利用者では気づかない危険な環境で通学していた

2021年2月 アンケート調査

2021年5月 交通安全講話1回目

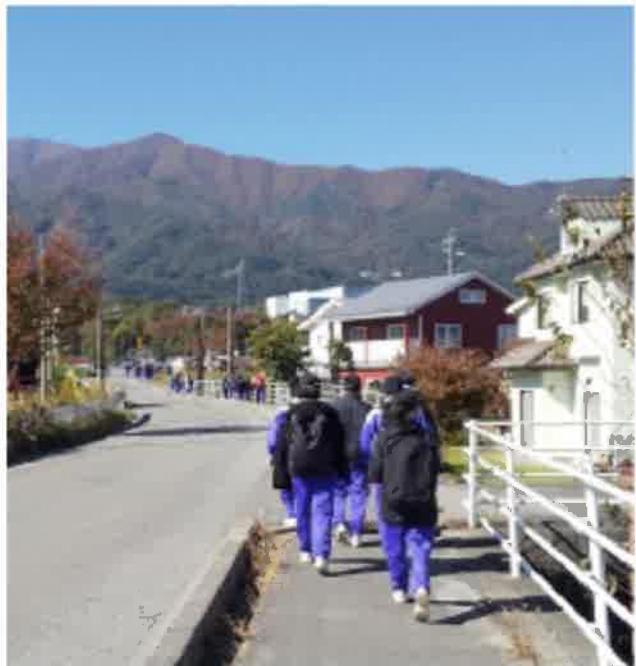
2021年7月 デジタルアンケート調査

2021年10月 安全講話2回目 通学路現地調査

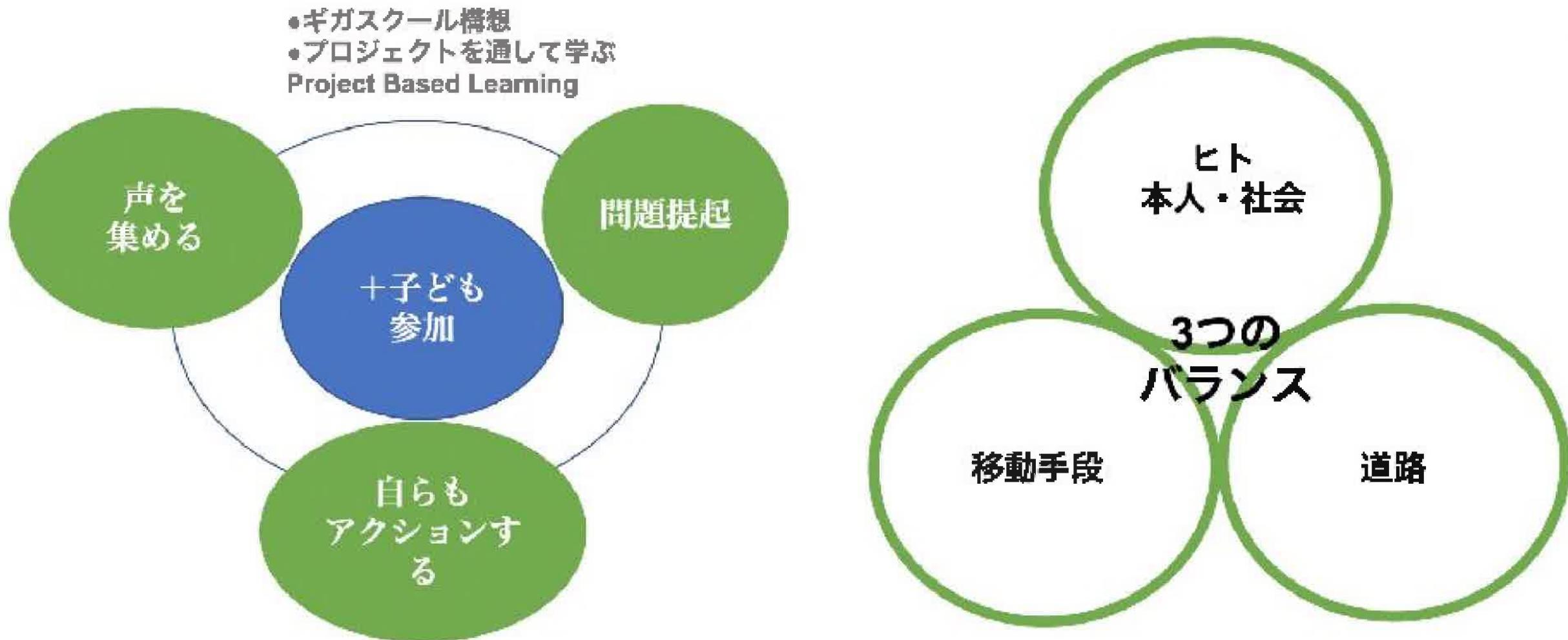
2022年3月 オープン報告会で発表

2022年5月 全校生徒でヒヤリハットグッドマップ作成

2022年6月 オープン報告会での対策検討



大切にしていること



安価にできることは協力してすぐにやる、計画や大きな予算が必要なことは中長期的に

●実績① 新たな交通安全教育

全校生徒によるヒヤリハットグッドマップの作成



●実績② 新たな交通安全教育

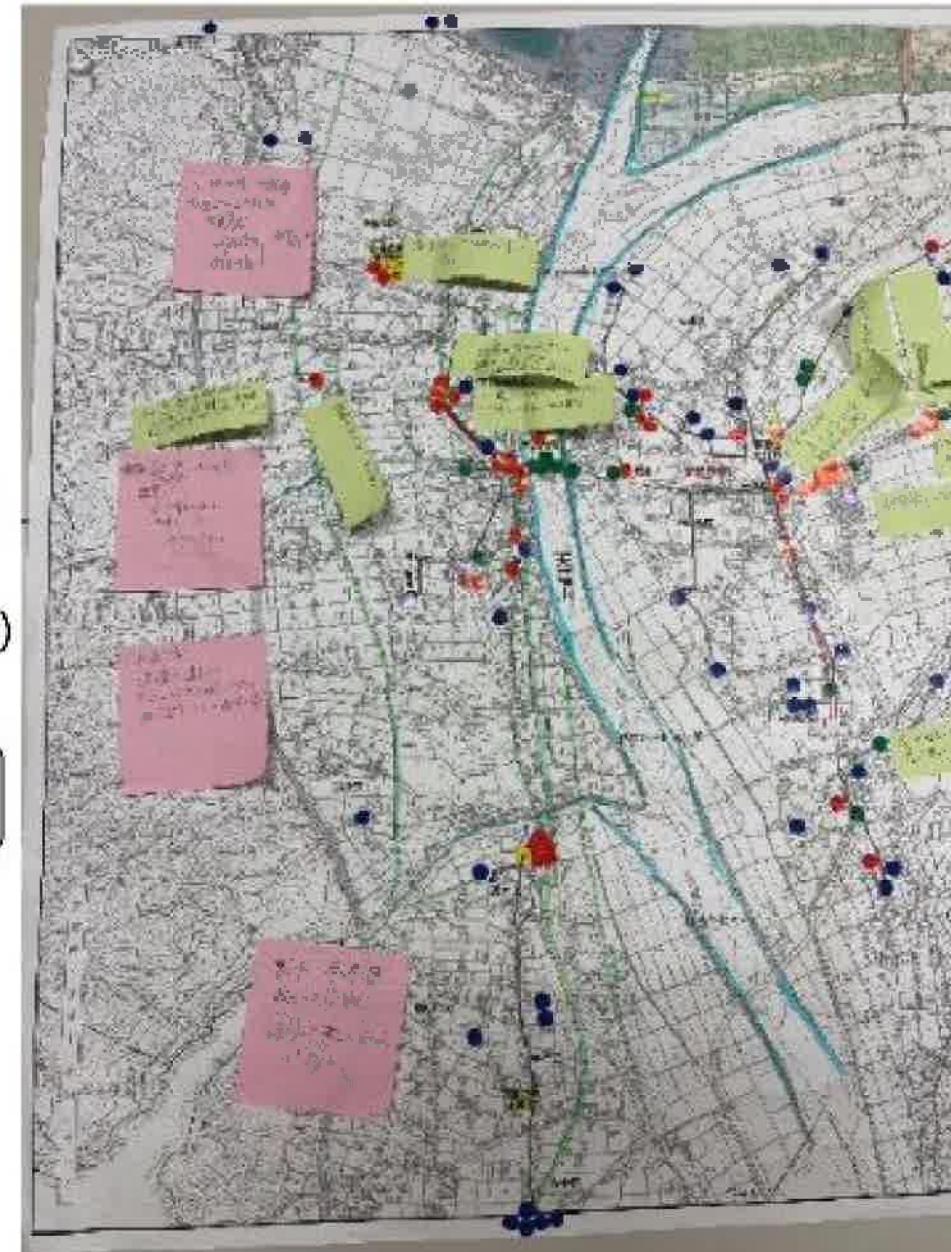
中学生参加による解決策の検討



<https://www.youtube.com/watch?v=kni2quS2lhQ>

●実績③ 新たな交通安全教育×大人の参画

市役所内、地区住民、PTAなどとの連携



●実績 新たな交通安全教育 メディアなどに発信

掲載：信濃毎日新聞・長野日報
伊那市公式Facebook
放映：伊那ケーブルテレビジョン
放送：伊那市有線放送



信濃毎日新聞



長野日報



信濃毎日新聞



伊那市公式Facebook

【長野県伊那市「あるびいな」
近所の通学路】
【中学生による通学路安全現地調査を行いました（10月28日）】
この日、春高中学校1年生が通学路の安全について現地調査を行いました。

これまでも、生徒たちはアンケートにより通学路における危険箇所の洗い出しを行っており、今度現地調査を実施。中学生自身の視点から、通学路の危険箇所は何か問題なのか、どうすれば安心安全な通学路になるのか、を班ごとに分かれて徒步で調査し明らかにします。生徒自ら通学路について調査し、安心安全な通学路を提案することは、全協約にもあまり例がないといいます。

生徒たちは、「ここが狭くて、車とすれ違うとき危いなと感じる」「ここでグリーンベルトが終わっていて、反対側の歩道へ渡らなければいけない」となど意見を出しながら調査をしていました。

市では、大成ロック株式会社との包括連携協定に基づく「通路空間整備システム構築プロジェクト」において、より安心で安全な通学や観光を実現する道路空間の構築を目指しています。

近日、通学路の改修に向けて同プロジェクトと連携し、調査結果を分析考察していきます。

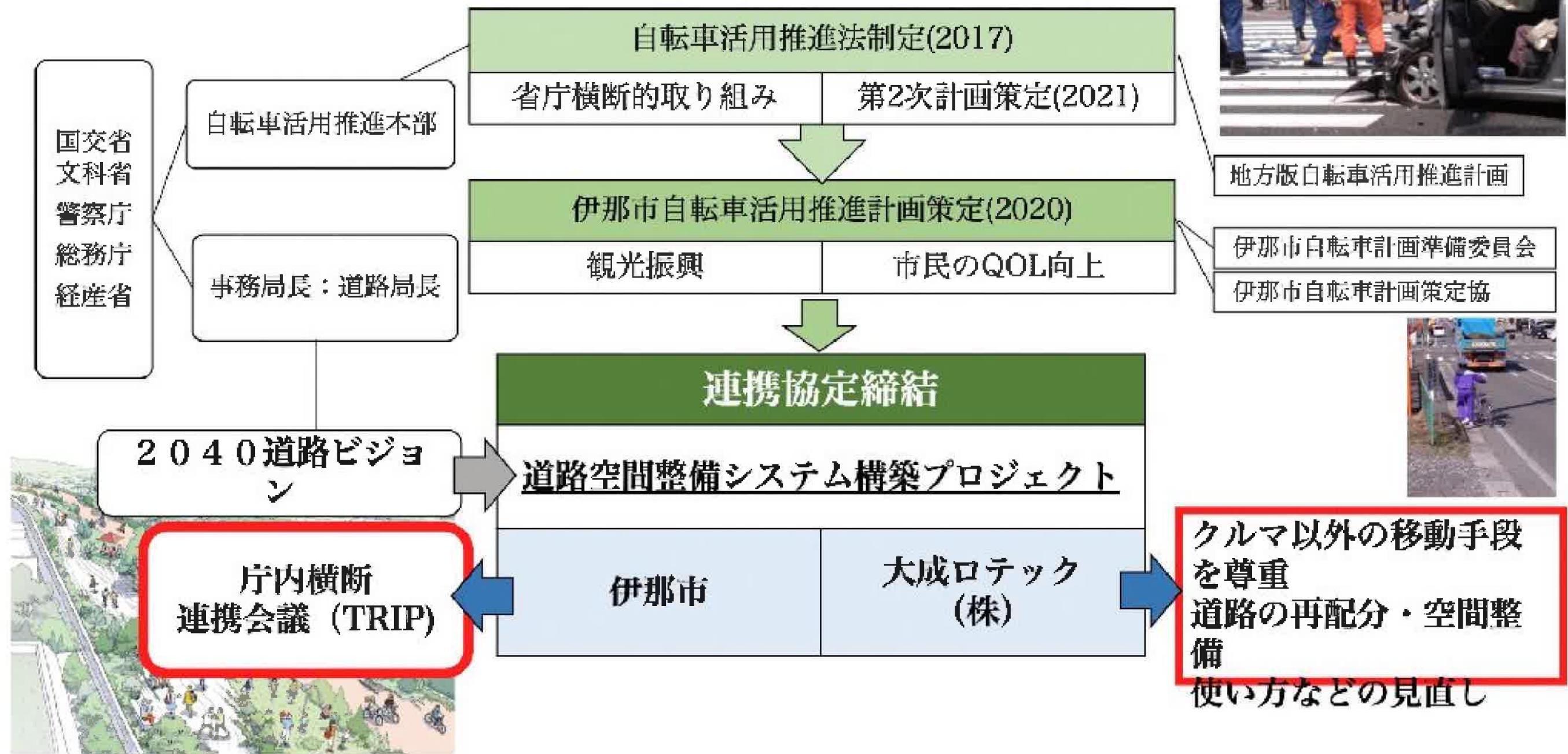
お長野県 #伊那市 #春高中学校 #通学路 #安心安全 #危険箇所 #現地調査 #大成ロック #道路空間整備システム構築プロジェクト

●実績 新たな交通安全教育

いろいろな方から頂いた声など

- クルマ以外の子ども・住民視点を満遍なく取り入れている
(伊那市職員)
高齢化社会や多様な移動手段が走る時代に対応
- 生徒が通学空間の点検整備に貢献する伊那市がトップランナー
(国交省 金籠参事官)
- 地域住民が主体的に動いている(中組、渡場地区など)
- 危険な道路を直す以外の、通学自転車や持ち物、
通学ルート、空間の使い方の見直しなど の方法を検討
- GIGAスクール構想を使った新しい交通教育のかたちのではないか
(北陸大学三国先生)
- 交通安全が自分事になった(元春富中、東部中 有賀校長)

国・伊那市の政策とプロジェクトの位置付け



TaiseiRotec×InaCity Project 組織図

TRIP

金沢を参考に
させていただきました

大成ロテック(株)

技術研究所

アドバイザー

学識経験者

日本自転車文化協会

モビリティジャーナリスト

伊那市

企画部

市民生活部

保健福祉部

建設部

教育委員会

商工観光部

伊那警察署

長野県

三国千秋氏

地域おこし企業人

地域おこし協力隊

●実現したい地域社会

地方都市に着目



地方都市の「通学空間」を
住民参画型で安全で快適にするため
デジタルを用いた手法を確立する

観光客も安心して楽しめる

多様なモビリティが活躍
高齢者も外出ができ移動寿命・健康寿命が長い
一生涯安心な地域



未然に事故防止 安全で楽しい通学づくりの仕組み 「IaaS/RaaS」

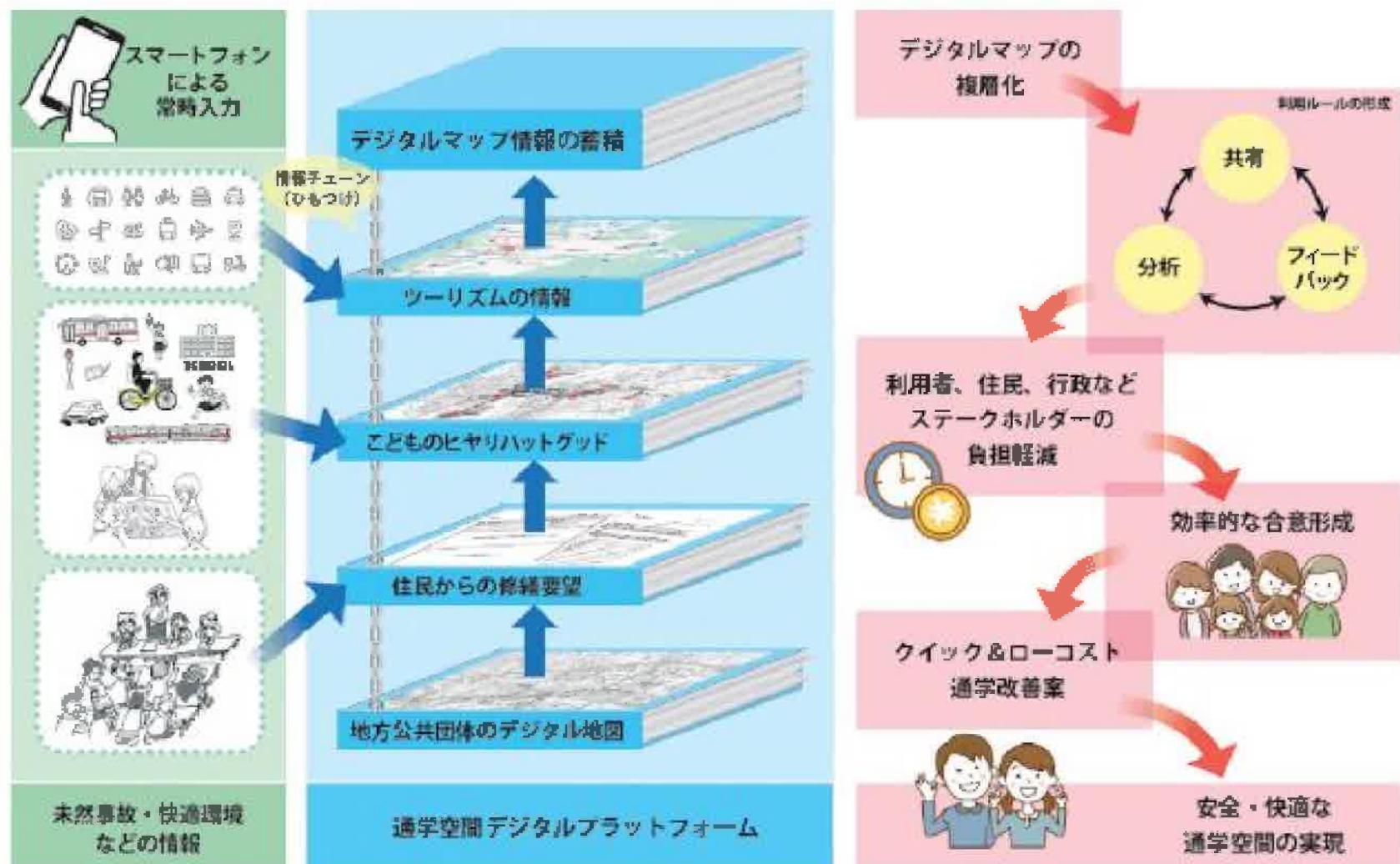
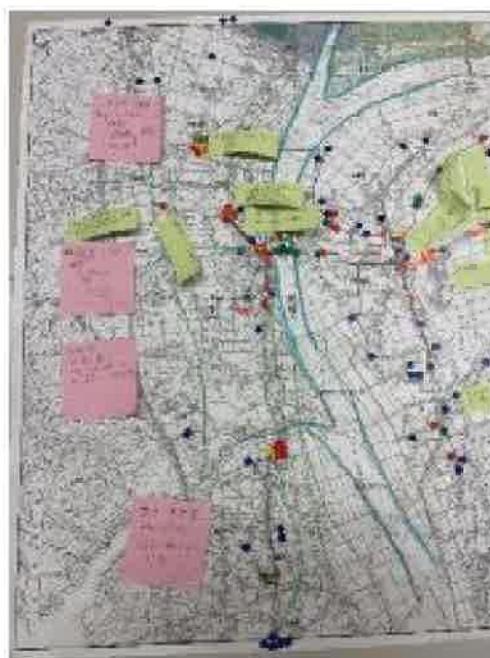
伊那市版：Ina as a Service=IaaS（アイアス）

全国版：Road as a Service=RaaS（ラース）



デジタル活用とリアル活動の両輪 持続可能な横断的な組織と仕組み

●学校のDX（GIGAスクール構想）、地区運営と市役所内のDX
デジタル入力と情報共有 自転車ネットワーク計画も容易
に



通学空間のデジタルプラットフォーム形成と安全・快適性の実現(概念図)

デジタル化も進めています 春富中アンケート+八街きっかけ小学校の危険箇所調査

A：大人は危ない、子供は気にしていない危険箇所がある

1/7500縮尺

春富中アンケート・危険・楽しい・生徒宅

一八街きっかけ危険箇所調査－八街きっかけ危険箇所調査





IaaS デジタルツール 活用イメージ



**同じ悩みをお持ちの方いらっしゃいませんか？
意見交換させて頂けましたら幸いです**

第9回自転車利用環境向上会議 in さいたま

「自ら楽しく学ぶ自転車安全利用」

～NPOによる自転車安全活動実例～

- ・放置自転車対策活動
- ・北九州交通公園の運営



放置自転車対策活動

自転車のマナーアップ啓発

2014年7月から、NPOと北九州市立大学学生が中心となり、市役所や警察、市民ボランティアの協力を得ながら放置自転車対策「keeple（キープル）活動」を行っている。

定期的に北九州市の中心市街地である小倉北区（JR小倉駅周辺）を巡回し、放置自転車の整理、啓発、調査を実施している。

社会課題である自転車問題の把握、対策の実践、成果の報告を大学生が主体となる事で当事者意識を持ち、更に地域への発信にもつながっている。

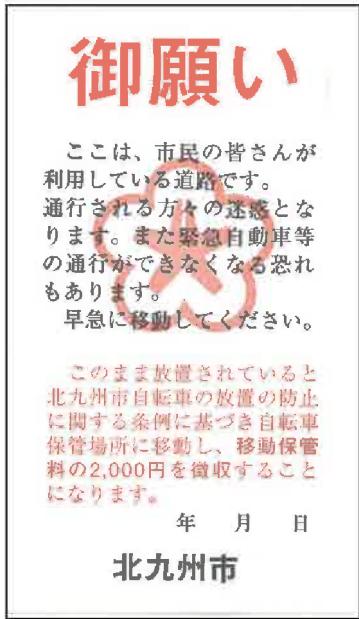
近年増加傾向にあった自転車盗難が活動をきっかけに減少傾向に転じ、小倉都心部では32.2%減少する成果が得られている。※資料提供：小倉北警察署生活安全課



啓発シールの見直し「簡単で分かり易く」

■活動当初の啓発グッズ

①



行政の啓発シール
(市役所から提供)

②



③



ビブスの作製

啓発シール
(学生の発案)

●近年の自転車利用者の変化(外国人) (インターン大学生による外国人へのヒアリングを実施)



- ✓在留外国人の自転車利用増
- ✓在留外国人の分布図が変化
(中国・韓国→ベトナム・フィリピン・ネパール)
- ✓英語は読めない
- ✓日本語は漢字が難しい
- ✓簡単な英語やひらがなが有効

北九州交通公園の運営

自転車の交通安全教育

2006年度より北九州市の指定管理者として運営・管理を開始。
自転車を中心とした交通安全教育を施設内外で実施し、自転車安全利用の普及活動を積極的に行っている。

理念

正しい自転車の乗り方や交通ルールを親子で楽しみながら身につけ、交通安全に対する関心や意識を幼少期から育んでもらう。
押し付けや強制的な教育ではなく、子供が自から興味を持ち、学びを継続できるよう、楽しい交通安全教育を行っている。

活動内容

- ・自転車、交通安全教室の実施や啓発活動
- ・自転車練習会やイベントの開催
- ・自転車運転免許講習会の実施



「自転車安全教室」

楽しい自転車安全教室で
興味を持とう！意識を深めよう！



小学4年生以上を対象に、複雑な自転車の交通ルールについて子供が知識や意識を深めることが出来るように、クイズや手作り教材等を使い、**楽しくわかりやすい自転車安全教室**の実施を行っている。また、施設を利用する幼稚園や保育園の幼児に対しては歩行者交通安全教室を行いながら、**自転車の乗車体験**をしてもらう。

実施スタイル

- ・園外指導→指導員が出張する（小学校、学童クラブ、市民センター等）
- ・園内指導→団体が施設を利用（放課後デイサービス、外国人実習生等）

特徴や体制

- ・警察、地域ボランティアと協働（地域密着で充実した指導が行える）
- ・自転車を持ち込みしている（学校側の準備が不要・すべての学校で実技が可能）
- ・体育館での実技対応（雨の心配がない・学校側のコース準備が不要）
- ・乗れない子供に対して実技を工夫（押し歩き、補助付き自転車等で対応）
- ・自転車シミュレーターの持込み対応（実技場所が確保できない場合の代替）
- ・園内指導では模擬道路で実技走行（本格的な実技ができる）

2021年度 実績

- ・実施件数 62件 参加総数 6,783人



「自転車練習会・イベント」

親子で楽しくチャレンジできる！
交通ルールを自ら学べる！



自転車の乗り方や教え方、交通ルールに関する知識を楽しみながら親子で一緒に身につけてもらう。難しいことをわかりやすく、だれでも安心して参加でき、自から学び続けられるような自転車練習会やイベントを年間を通じて実施している。

「自転車の練習会」

主な練習会

- ・補助なし自転車の乗り方を指導
- ・交通ルールや安全走行を指導



特徴

- ・楽しく始めて、楽しく終わる！
- ・子供は遊びの要素を取り入れながら
- ・大人や高齢者は楽しく会話をしながら
- ・個人のレベルや個性に合わせながら



よくある参加理由

- ・教え方がわからない
- ・自転車の交通ルールをよく知らない
- ・指導員に正しく教えてもらいたい



2021年度 実績

- ・開催回数 61回
- ・参加総数 288人

「交通安全イベント」

主な年間イベント

- ・スタンプラリー、クイズラリー
- ・オリジナル反射材作り
- ・こども夏まつり
- ・交通安全フェア（北九州市主催）

特徴

- ・大人も子供も気軽に参加できる
- ・アイデア、製作すべて手作り！
- ・すべて無料で参加できる

よくある感想

- ・子供が楽しんでいて、交通安全も学べる
- ・小さな子供でも安心して参加できる
- ・自転車利用以外にも来園する楽しみがある

2021年度 実績

- ・開催回数 17回 参加総数 4,122人



「自転車運転免許講習会」

自転車免許を目指しながら
知識が増える！意識が高まる！



自転車の利用が多くなる小学校高学年（4年生～6年生）を対象に
毎月第3土曜日に施設内で実施している。

子供の頃から、交通ルールや自転車マナーについて学んでもらい
「免許証」を取る事で、**交通安全への関心や意識を高めてもらう**
事を目的としている。

実施スタイル

- ・小学校で実施する（小学校4年生）
- ・定期講習に参加する（小学生以上）



内容

- 1、自転車の交通ルールを受講する
- 2、筆記試験を受ける
- 3、安全走行の実技試験を受ける
- 4、合格発表
- 5、免許証（修了証）の交付



特徴

- ・免許を取る！を目標に、やる気がUP！
- ・顔写真入りの免許証がもらえる
- ・受講、免許証交付、すべて無料！

実績

- ・合格者4,773人（2022年10月現在）

北九州市自転車運転免許証			
氏名	北九花雄	平成〇〇年××月△△日生	
学校名	北九州市立〇×小学校	血液型	A型
	番号 第00000001号		
	交付 平成〇〇年××月△△日		
北九州市自転車運転免許証制度実行会			

ご清聴ありがとうございました



まちの動きをデザインする
NPO法人 I-DO



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



第9回 自転車利用環境向上会議

新しい 自転車教育 のあり方

年齢層に応じた自転車安全教育
実践者からの報告

相川版

2022年 11月 5日（土）分科会
さいたま市民会館おおみや・オンライン
(ハイブリッド形式)
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)

代表理事 藤本 典昭

あなたの考える

自転車安全教育 ゴールは？

私が設定しているゴール

「自転車で移動するときに意識せず安全行動が取れる資質や能力を養うこと」

相手の運転ミスやルール違反から身を守れること



年齢層に応じたプログラムを用意

実技

キック
バイク
教室

自転車
デビュー
教室

ステップ
アップ
教室

サイクル
散歩
教室

電動アシスト
自転車教室

子乗せ
自転車
教室

シニア
自転車
健康
教室

インクルーシブサイクリング教室

座学

見てわかる自転車安全教室

自転車お手入れ教室

新しい自転車教育プログラム

小学生 学年別 交通事故死傷者数 (警察庁)

歩行中

自転車乗車中

自動車乗車中



例

未就学児 小学生

小学校 自転車教室

(警察:自転車免許発行型)

対象:3・4年生



自転車デビューに向けた
準備的な教育が必要

教育指針
(自転車
関係)

幼児期に応じた
自転車安全教育



ランニングバイクで心と体が育つ遊び方ハンドブック

遊びながら学ぶ

幼児期から始める 子ども自転車教室

デンマーク式自転車ゲームをベースに
保育所・幼稚園の先生方の声とCCSPの
経験とをプラスして出来たプログラム

監修

一般社団法人 市民自転車学校プロジェクト(CCSP)



自転車デビュー前

- ① 「交通ルールやマナー」を学ぶよりも先ずは「自転車に安全に乗る」ことの習得を目指します
- ② 自転車に乗りながら「空間認識」ができるようになることの習得を優先しています

**大事なのは
訓練や練習ではなく
遊びながら学ぶこと**

中学生・高校生

	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
・出生	・保育園入園 ・幼稚園入園	・小学校入学	・中学校入学	・高校入学	大学入学 免許取得 転入	・免許取得・更新 ・転入、就職、結婚 ・子育て	・免許更新 ・運転免許返納 ・孫育て
自転車関係 道路交通法 条例等	乗車用ヘルメット着用 二人乗り可・幼児用座席(未就学児)	歩道通行可(未満)	道路交通法	自転車の安全運転 自転車の運転者講習制(14歳以上)	歩道通行可(70歳以上)		
交通安全教育指針 (自転車関係)	基本的な交通ルール等の理解と実践 ・安全な歩行 ヘルメット着用 ・ミラーの確認方法 ・遙る所 ・走行上の注意 ・交差点の通行 ・歩行者、他への注意 ・自転車の駐車	正しい乗り方 点検整備	転車の安全性の自覚と正しい実践 確認	・当面の安全運転 ・危険な乗り方 ・事故発生時の対応 ・当事者事故発生時の効果 ・交通事故の影響を理解 ・確認 ・交通事故の知識	・当面の安全運転 ・危険な乗り方 ・事故発生時の対応 ・当事者事故発生時の効果 ・交通事故の影響を理解 ・確認 ・交通事故の知識		

ポイントは
伝え方に工夫

ご見学・ご質問 お問い合わせ

京都市建設局
自転車政策推進室

堺市建設局
サイクルシティ推進部



京都市

堺市

高齢者

	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
・出生	・保育園入園 ・幼稚園入園		・中学 ・高校入学		・大学 ・免許更新 ・転職 ・転居、結婚	・免許更新 ・更新 ・転職 ・転居、結婚	・免許更新 ・運転免許返納 ・孫育て
自転車用 係道規	乗用車用ヘルメット着用 （3歳未満）						乗車用ヘルメット着用
交通法・ 条例等	二人乗り可・前用 座席（未就学児）						歩道通行可（70歳 以上）
交通安全 教育指針 (自転車 関係)	歩道通行可（13歳未満）						身体機能の確認と理 想の乗り方の実
	自転車の安全な利用 （自転車利用の際 に必要なこと）						
	ヘルメットの着用 （自転車乗車時の 心得）						

ポイントは
楽しみながら
学ぶ

自転車ゲームを通して
自分の身体能力を
自分で確認する



シニア自転車健康教室

社会の受け皿として 自転車安全教育は 自治体主導が効果的



必要なのは
常者のみならず障がいをお持ちの方々にも

自転車安全教育の見える化と責任の所存です。
自治体ではどこの部署が担当するのかを明確
にし6W1Hでゴール設定してください。

「検討します」では自転車安全教育は
変わりません。

社会に受け
皿が必要